

## 2022年度 環境保全報告書

### 1、温室効果ガスの抑制に関する実施状況

当社では、環境マネジメントシステムISO14001を運用しており、電気及び天然ガス(蒸気ボイラー)使用量削減を主に省エネルギーの推進、土壌汚染の防止、環境に配慮した製品の開発、環境影響物質の管理に努めています。

CO2排出量は2022年の実績で「神戸工場内のCO2発生量を2013年度比5%削減(95%以下にする。)とした目標に対し、90.93%(9.07%減)と目標を達成しました。

本年度も温室効果ガス抑制に向け、努力と新たな工夫を実行していきます。

#### 前年度(2022年度)における神戸工場内のCO2発生量

電気	使用量×CO2排出係数 = 239,480 kwh×0.356kg/kwh = 85,255 kg
都市ガス	使用量×単位発生量×CO2排出係数 = 47,605 m3×45MJ/m3×0.0513kg/MJ = 109,896 kg
燃料油(A重油)	使用量×単位発生量×CO2排出係数 = 4,970 L×39.1MJ/L×0.0693kg/MJ = 13,467 kg
合計	208,618 kg
基準年度比	90.93 %

#### 基準年度(2013年度)における神戸工場内のCO2発生量

電気	年間使用量×CO2排出係数 = 299,387 kwh×0.356kg/kwh = 106,582 kg
都市ガス	年間使用量×単位発生量×CO2排出係数 = 43,996 m3×45MJ/m3×0.0513kg/MJ = 101,565 kg
燃料油(A重油)	年間使用量×単位発生量×CO2排出係数 = 7,850 × 39.1MJ/L×0.0693kg/MJ = 21,271 kg
合計	229,417 kg

2、2022年度 重点取組目標・計画の実施状況

	分野	目標	達成状況	実施状況
1	環境マネジメントシステムの維持改善	ISO14001認証継続	認証継続	2023年2月に外部機関の定期審査を受け、認証継続達成
2	温室効果ガスの抑制	神戸工場内のCO2発生量を2013年度比5%削減(95%以下に)する。	90.93% 達成	省エネルギーの推進に向けた各施策を実施した
2	省エネルギーの推進	神戸工場における電気使用量を2013年度比5%削減(95%以下に)する	79.99% 達成	不要な照明の消灯を徹底した 省エネ型照明に取替した センサーライトを導入した 空調の温度管理を徹底した インバーターを導入した
		神戸工場におけるガス使用量を2013年度比5%削減(95%以下に)する	108.20% 未達成	蒸気加熱設備におけるスチームトラップ、保温材等の管理を徹底した 運転温度の適正管理を徹底した 蒸気配管の系統見直し、及びバルブ数の増加により不要な加熱箇所を減らした
3	土壌汚染防止	油漏洩による土壌汚染を発生させない	土壌汚染 ゼロ達成	油取扱管理手順書を遵守した作業を徹底した 液面警報を増設した 緊急事態対応訓練を実施した
4	廃油・廃棄物の適正処理・減量	廃棄物を適正に処理し、リサイクル可能品については分別を徹底する	実施中	廃油・廃棄物の分別方法を手順書で詳細に明確化、遵守を徹底し廃棄物発生量を減少させた
			実施中	ダンボール、古新聞等 近隣町内会の廃品回収へ協力した
5	環境に配慮した製品の開発	環境に配慮した製品を開発する	9製品開発	環境に配慮した製品を9品開発した
		購入品のグリーン調達を実施する	実施中	購入品のグリーン調達を実施した
6	環境影響物質の管理	環境物質の数量管理を実施する	実施中	取り扱った数量を管理した
7	自動車対策	マイカー通勤をしないようにする	実施中	社員のマイカー通勤を禁止した
		構内における車両事故を防止する	事故ゼロ 達成	構内速度10km/h以下を徹底した
8	従業員教育	全員従業員が環境教育を受講する	全員従業員 受講	教育を年2回実施した
9	地域社会への参画	地域の環境保全活動への社員参加	参加	兵庫運河を美しくする会清掃活動に参加した

### 3、公害防止対策に係る計画の結果報告

(2022年3月1日～2023年2月28日)

#### ①水質関係

(測定結果)

項目	目標値	測定値	
		最小値～最大値	平均値
水素イオン濃度 (pH)	5.2～8.8	5.4～7.8	7.2
ノルマルヘキサン 抽出物含有量	5.0mg/以下	最大3.0mg/L	

#### ②大気関係

項目	実施内容	目標達成状況	目標達成の措置・対策
大気汚染防止対策	ばい煙の排出規制の遵守	ボイラー2基の適正な維持管理と運転を行った。	ボイラー2基の適正な維持管理と運転を行った。

#### ③騒音・振動関係

項目	実施内容	目標達成状況	目標達成の措置・対策
騒音・振動 防止対策	近隣に影響を及ぼさないよう配慮する。	製造設備による騒音・振動による苦情等の発生は無かった。	毎日のパトロールで騒音・振動を監視した。
			新規設備の導入による騒音・振動の増加は無かった。